

提携米通信

2022年9月号・黒瀬農舎

線状降水帯・当地上空に長期停滞!



ひまわりロードのヒマワリも寂しそう

灼熱の太陽に映えるヒマワリも、今年は雨ばかり。おまけに、コロナが拡大し、人影もなく、なんだか寂しそうな今年の夏でした。撮影：2022.8.20

温暖化が聞かれるようになって出てきた言葉「線状降水帯」が、当地を含めた東北日本海側に張り付きました。

多くの方から、豪雨お見舞いの電話やメールを頂きありがとうございました。

我が村近隣の町や村では、堤防決壊、浸水被害が続出ですが、当地はお蔭様で、大きな被害はありませんでした。

しかし、本来なら、灼熱の太陽に晒される8月の田圃は、今年は様子が一変です。一日中太陽が照ったのは、28日までの間に、僅か4日間だけ!

でも、目に見えた稲への悪影響は今のところ、出ていないくホッとしているところです。

ただ困っているのは、雑草との闘いの前半戦を終え、7月末に田圃の水を落とし、田圃が乾くのを待って、お盆過ぎから、草取りの後半戦を始める予定でしたが、雨が続いて田圃が乾かず、草取り作業に田圃に入れば、足が土にとられ歩けず、作業ができないことです。

このままでは、雑草との闘い・後半戦は、まさに「不戦敗」の様相。田圃の一部は、雑草まみれになりそうで、毎日ヤキモキしています。

その上、コロナは人口希薄な我が田舎でも最近精力拡大し、近隣で罹患者が増えてきており、実に困った今年の夏でした。

しかし、今月下旬から収穫時期に入る予定ですので、最後まで気を抜かず頑張りたいと思っています。

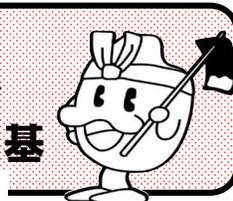
提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

TEL: 0185-45-3088 FAX: 45-2887



E-mail: akita@kurose.com Web: [提携米 黒瀬農舎](#) 検索

★定期購入の場合も、変更や前倒しの出荷休止はいつでも対応いたします。変更や休止は次のお米のお届けの5日ほど前までにご連絡下さい。

★お米のご贈答利用もどうぞお願いします。

★電話は土日祝日も含めて朝8時～夜8時頃まで対応致します(自宅兼事務所)。但し、電話受付の専任スタッフはいないため田圃や倉庫作業、外出の時は留守番電話対応となります。ご了承をお願いします。

また、メールもぜひご利用下さい。なおメールは原則すべて返信していますので、返信メールが届かない際は自動的に迷惑メールとなっている可能性があります。迷惑メールやメールの設定をご確認下さい。

農薬を使わないお米作りは、消費者の皆さんのご理解でこそ！

平成5年（1993年）東北地方は大冷害によるイモチ病多発で大減収になりました。この年、8月の秋田の晴天日は4日間だけ。今年の8月も一日中晴れた日は今日まで4日間だけでした。でも、今年は、気温はさほど低くなかったため、イモチ病の発生もなく、見た目は順調です。ところが、田圃が乾かず、後半の草取りに田圃に入ることがまだできないため、写真のように、前半戦中の時間切れで、手取り除草ができなかった全体の10%余りの部分では、イネが見えないほどの雑草に覆われました。



雑草でイネが見えなくなりました。

左半分は、前半戦で手取り除草が終わった部分。右半分は、草取りができなかった部分。2022.8.29撮影

この写真を撮った時期が、一番見苦しさが強く、収穫皆無のような姿です。しかし、もう2週間もすると、この雑草（ヒエ）は、先に熟れて枯れ、目立たなくなり、被害もさほどではなく半作以上のお米は確保できる見込みです。

農薬を使わないお米作りは、天候に恵まれると、手間暇はかかっても、一般栽培と大差ない収穫量が確保できますが、悪天候が続くと、手酷い被害を受ける時があります。

これは苦労といえば、苦労ですが、環境や安全に配慮した米作りに挑戦するゆしさも得られます。

ところで、農薬を使わない栽培によって収穫したお米は、農薬を使ったお米に比べて、斑点米が多かったり、収穫貯蔵時に発生するコクゾウムシやコクガの混入がどうしても多くなります。

ところで、農薬を使わない栽培によって収穫したお米は、農薬を使ったお米に比べて、斑点米が多かったり、収穫貯蔵時に発生するコクゾウムシやコクガの混入がどうしても多くなります。

斑点米は、米粒の一部に黒褐色の斑点がつく現象です。ご飯を炊くと、ゴマ粒のような斑点が時々混ざることになります。

お米が稔る時の米粒が柔らかい時期に、イネカメムシが米粒を吸った傷跡です。

これは、嫌われるため、農家は収穫直前にカメムシ防除の農薬を撒きます。その農薬のおかげで、全国各地にいた日本ミツバチが絶滅の危機を迎えたり、人々への発がん性が問題となっていますが、ご飯に斑点米が入ると言っても、黒ゴマ入りのオニギリのようになるのではなく、お茶碗1杯に数粒ですから、消費者の皆さんのご理解をお願いします。

また、**コクゾウムシやコクガの幼虫が**、夏から秋にかけてお届けするお米に混入することがあります。栽培期間中に農薬を使っていないと、発生が多くなります。

逆に言えば、田圃に撒いた農薬が米粒にも残っていることの証拠でもあります。

コクゾウムシが発生したら、**直射日光の当たらない所で**、お米を新聞紙などに広げれば、どこかに逃げて行きます。**コクガの幼虫は**、お米を糸で丸めていますので、割り箸など取り除いてください。

また、洗米の時、コクガやコクゾウムシは浮き上がるので、この時除去できます。取り切れずに食べても、農薬を食べるよりもはるかに安全です。

環境を守るためには、農家が農薬を使わないことも大事ですが、消費者の皆さんのご理解ご協力が欠かせません。我が農舎のお米に限らず、どうぞご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

郵便局のシステム改悪（お米代金などの送金用紙の取扱いと土日配達廃止）

① 送金手数料は、当方の負担ですので従来同様に無料です。② 郵便局は1月17日よりシステム改悪し、この送金手数料とは別に、窓口での「現金取扱い手数料（110円）」を払い込み人様から徴収することになりました。③ ATMを使って自分のゆうちょ口座から振り替え送金する場合や、コンビニで送金される場合は、今までと同様、この現金取扱い手数料は不要です。

☆ 土日祝日の郵便配達廃止！ 郵便の到着は相当遅れています。早めの投函をお願いします。